

<参考資料>

# 福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋 トーラス室内調査結果について

(R/B1階床配管貫通部からの調査  
：平成24年6月26日実施)

平成24年6月27日

東京電力株式会社



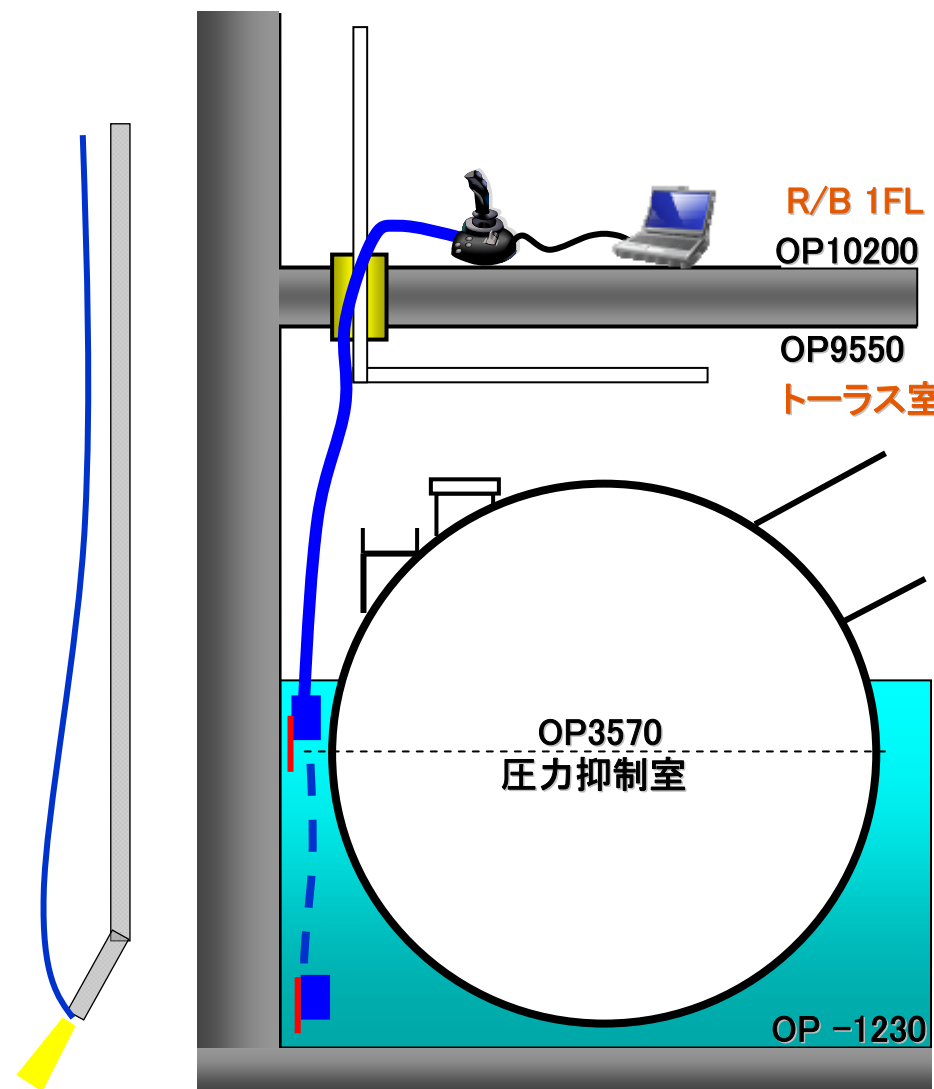
東京電力

---

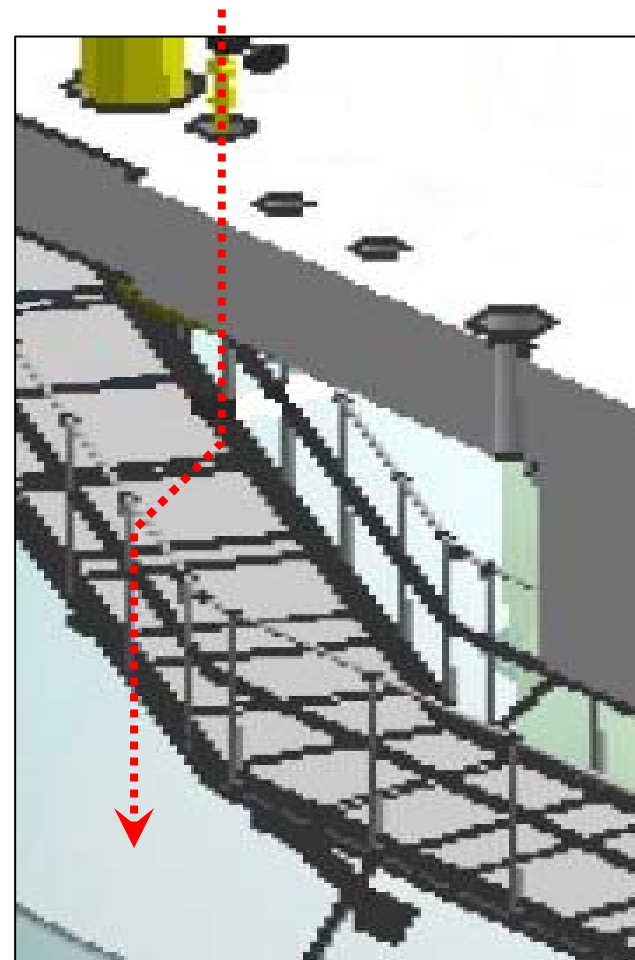
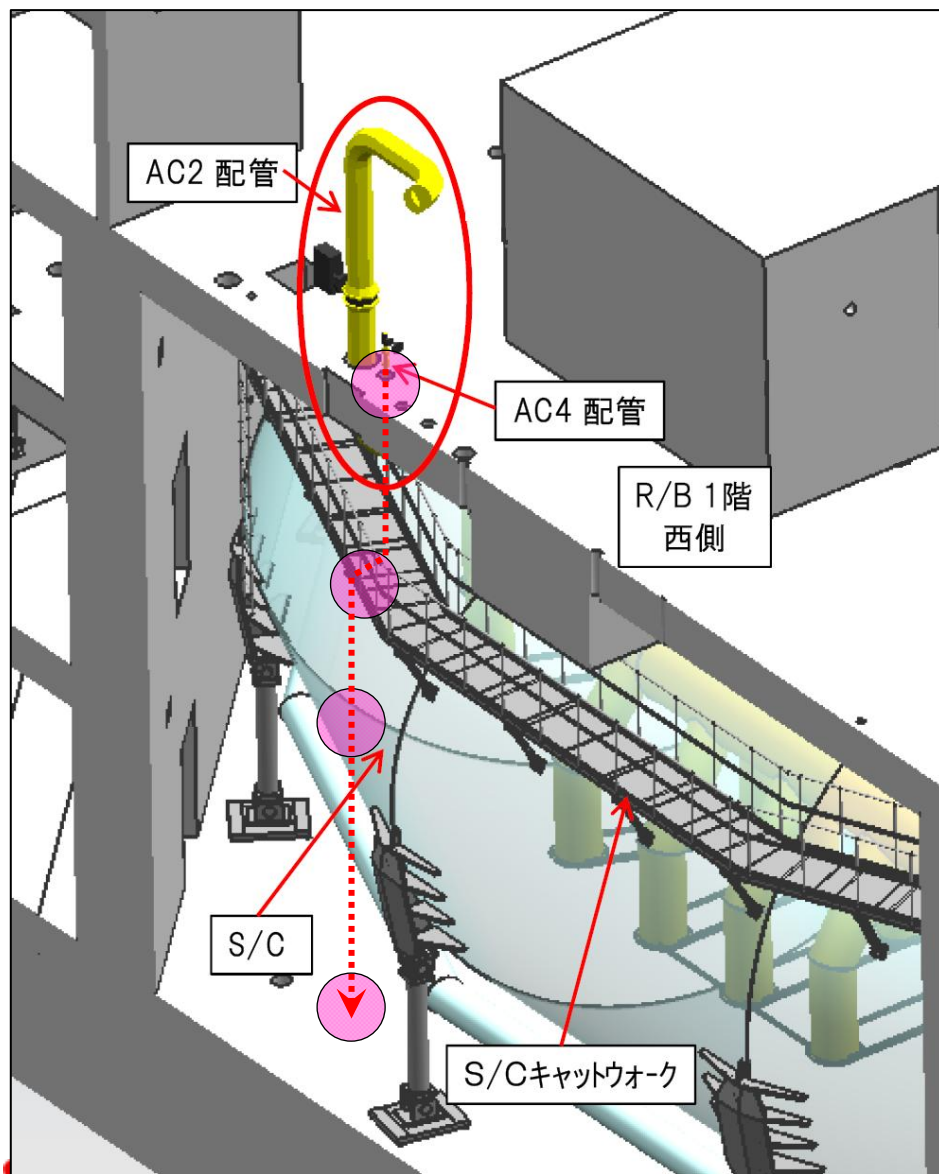
# 1. 調査方法

配管貫通口よりCCDカメラ、  
温度計、線量計を挿入

※配管と床貫通スリーブの間隙 約50mm



## 2. CCDカメラの挿入ルート



キャットウォークの手すりと干渉するため、  
外側へオフセットしてアクセスする必要がある。

### 3. 作業結果まとめ

---

#### ○滞留水水位

OP.4,000程度であることを確認。

#### ○滞留水水温

トーラス室温は約28.8℃，滞留水温度は約32～37℃であった。

#### ○滞留水線量

トーラス室内の線量は19.5～10,300mSv/hであった。しかしながら、測定中に $10^8$ ～ $10^9$ mSv/hオーダーの値を示し、その後線量計を引き上げるまでこのオーダーの指示値を示していたため、線量計が故障したと考えられる。

#### ○滞留水透明度，トーラス室底部堆積物

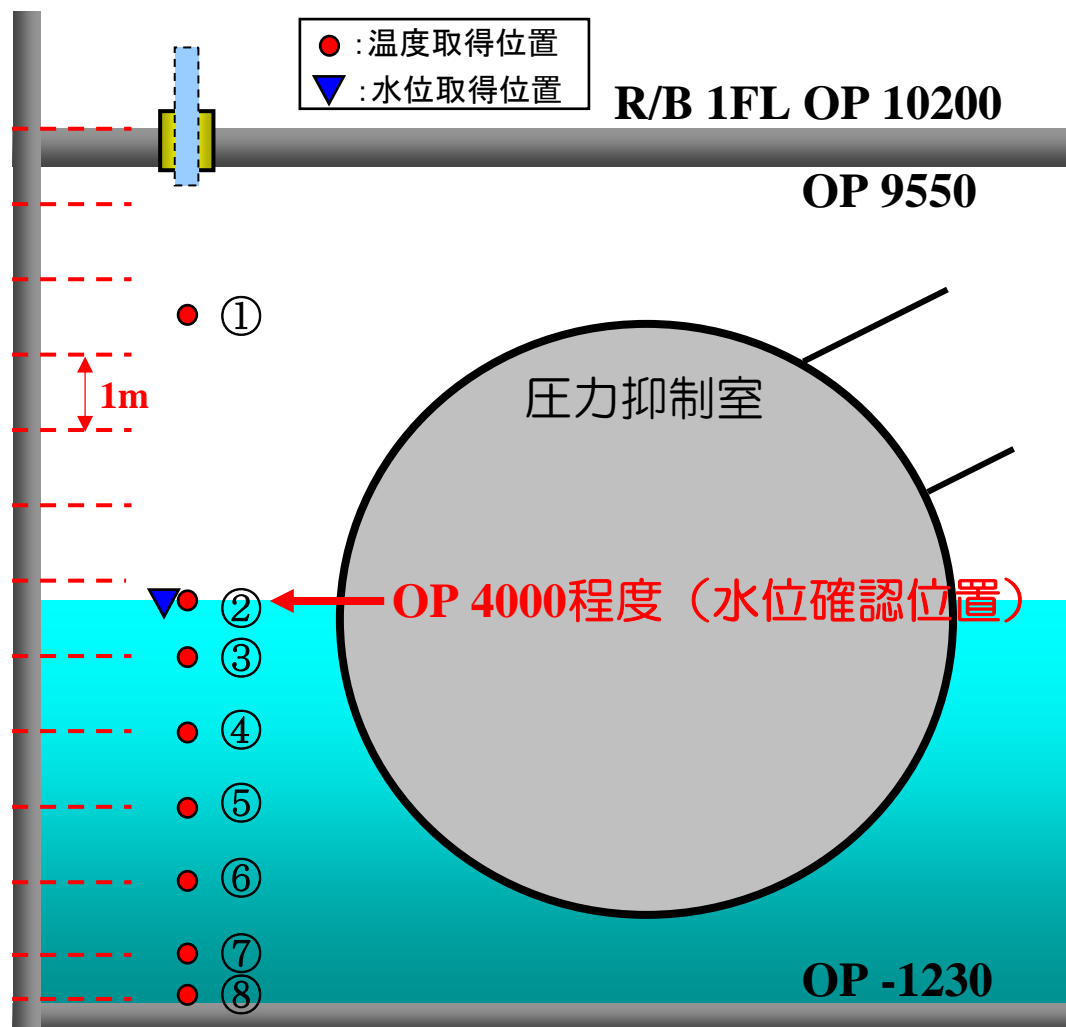
少なくとも60cmの透明度があることを確認出来た。

また，調査装置が壁面や底部に干渉した際に，浮遊する程度の堆積物が確認できた。

#### ○滞留水成分

滞留水の採水は実施せず。

# (参考) 水位・水温の測定結果



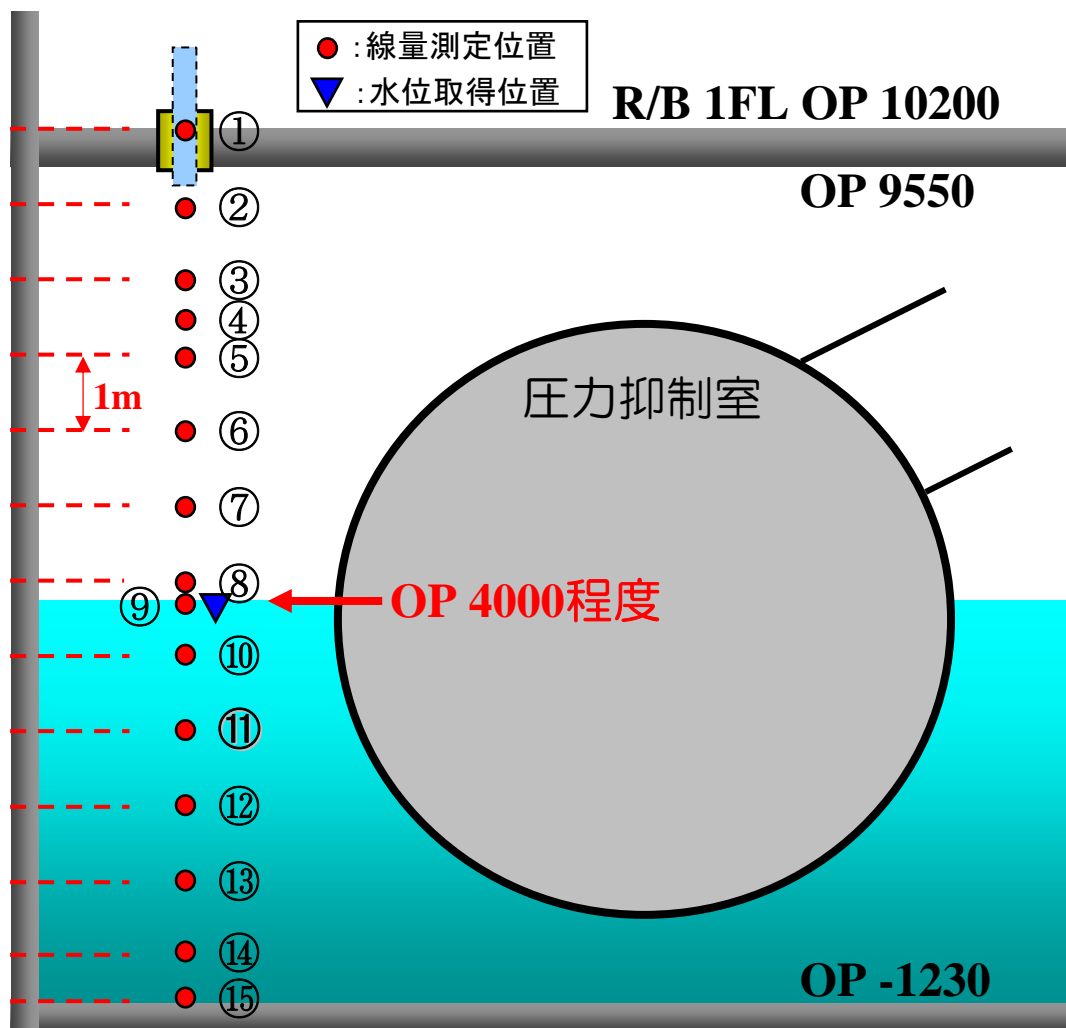
|   |          |       |
|---|----------|-------|
| ① | OP.7700  | 28.8℃ |
| ② | OP.4000  | 37.2℃ |
| ③ | OP.3200  | 34.0℃ |
| ④ | OP.2200  | 34.0℃ |
| ⑤ | OP.1200  | 34.8℃ |
| ⑥ | OP. 200  | 34.1℃ |
| ⑦ | OP. -800 | 32.4℃ |
| ⑧ | OP.-1230 | 32.0℃ |

※R/B雰囲気温度:約22℃

※中地下三角コーナ水位: OP.4617

# (参考) 線量の測定結果

◎線量計は調査中に故障した模様

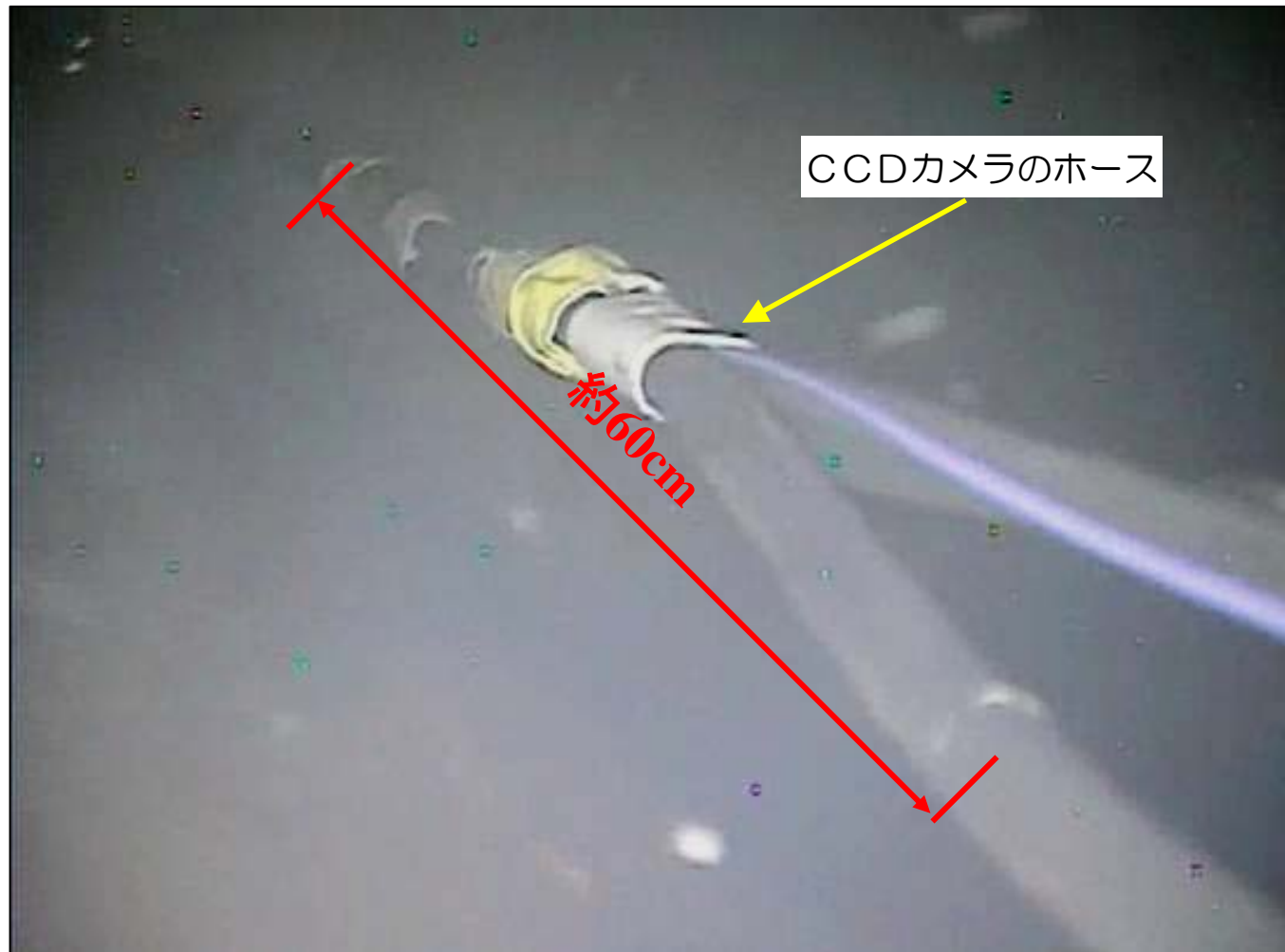


|   |           |  |
|---|-----------|--|
| ① | OP.10200  | 19.5mSv/h                                |
| ② | OP.9200   | 625mSv/h                                 |
| ③ | OP.8200   | 1290mSv/h                                |
| ④ | OP.7700   | 1440mSv/h                                |
| ⑤ | OP.7200   | 1410mSv/h                                |
| ⑥ | OP.6200   | 2030mSv/h                                |
| ⑦ | OP.5200   | 4520mSv/h                                |
| ⑧ | OP.4200   | 10300mSv/h                               |
| ⑨ | OP.4000   | 8190mSv/h                                |
| ⑩ | OP.3200   | 3550mSv/h                                |
| ⑪ | OP.2200   | 2770mSv/h                                |
| ⑫ | OP.1200   | 10 <sup>8</sup> ~10 <sup>9</sup> オーダーを記録 |
| ⑬ | OP. 200   |  |
| ⑭ | OP. -800  |  |
| ⑮ | OP. -1230 |  |

※OPは検査装置の送り量より計算しているため、誤差を含んでいる

## (参考) 透明度について

---





# (参考) 堆積物について

---



トーラス底部の堆積物